

救急医療と最先端医療を西三河南部東医療圏の皆さまへ

地域の皆さまの安全を守る24時間365日の二次救急医療と、ダビンチをはじめとする大学病院ならではの高度で最先端の医療を、西三河南部東医療圏の皆さまへ提供します。

患者目線に立った病院づくりを目指し、上下階移動を極力排除すべく、外来部門を1階に集約。その他、見通しの確保や、分かりやすさへの配慮、良好な病室環境を実現する設備システム、免震構造の採用など、患者さまの利便性や安全性を重視した設計となっています。

2018年5月：工事着工
2020年4月：開院予定



施設概要

場所：愛知県岡崎市針崎町字五反田1番地
(岡崎駅南土地区画整理事業48街区1画地)

敷地面積：29,717.19㎡

建築面積：8,685.15㎡ ※病院本体面積

延べ面積：37,663.60㎡ ※病院本体面積

階数：地上8階(病棟は7階まで)

構造形式：鉄骨造(免震構造)

病床数：一般病床400床

診療科目：救急科、循環器内科、

- 消化器内科、呼吸器内科、
- 内科、放射線科、外科、
- 胸部外科、脳神経外科、
- 整形外科、婦人科、泌尿器科、
- 小児科、皮膚科、腫瘍内科、
- 眼科、耳鼻いんこう科、
- リハビリテーション科、
- 精神科、歯科、麻酔科、
- 病理診断科 全22科

※一部診療科は入院患者のみ

駐車台数：951台(一般488台、職員他463台)

財政支援：岡崎市・幸田町

施設の特徴

■ 大地震時にも主要機能を維持する免震構造

病院本体は、免震構造を採用。大地震時の建物への衝撃を抑制することで主要機能を維持し、岡崎市南部の防災拠点として、地域の皆さまの安全を守ります。

■ 救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通EVなど重症対応が可能な動線設計

重症者の緊急手術に対応出来るよう、救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通EVを設置。また、救急外来に隣接して画像診断エリアを配置し、迅速な診断が可能です。

■ 多翼型の病棟形状で視認性の確保とコンパクトな動線を両立

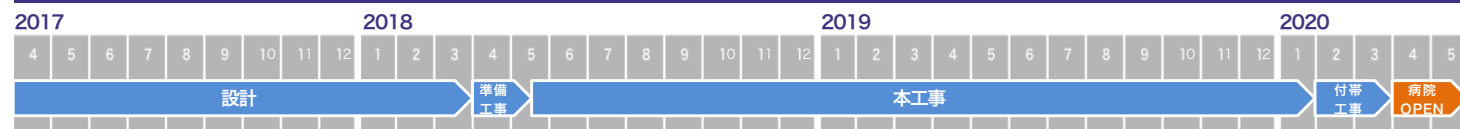
スタッフステーションを中心に3方向に延びる病棟形状を採用。端部病室までの視認性の確保と動線の短縮化を両立させ、安全性を重視しています。また、病棟廊下端部に設けた窓からは、西三河の山や田園、市街地といった多様な景観を臨むことが出来ます。

■ 安全かつ利便性の高いワンフロア完結型外来

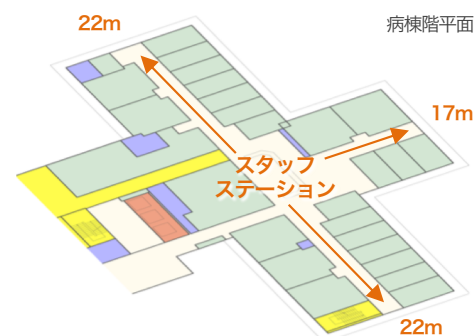
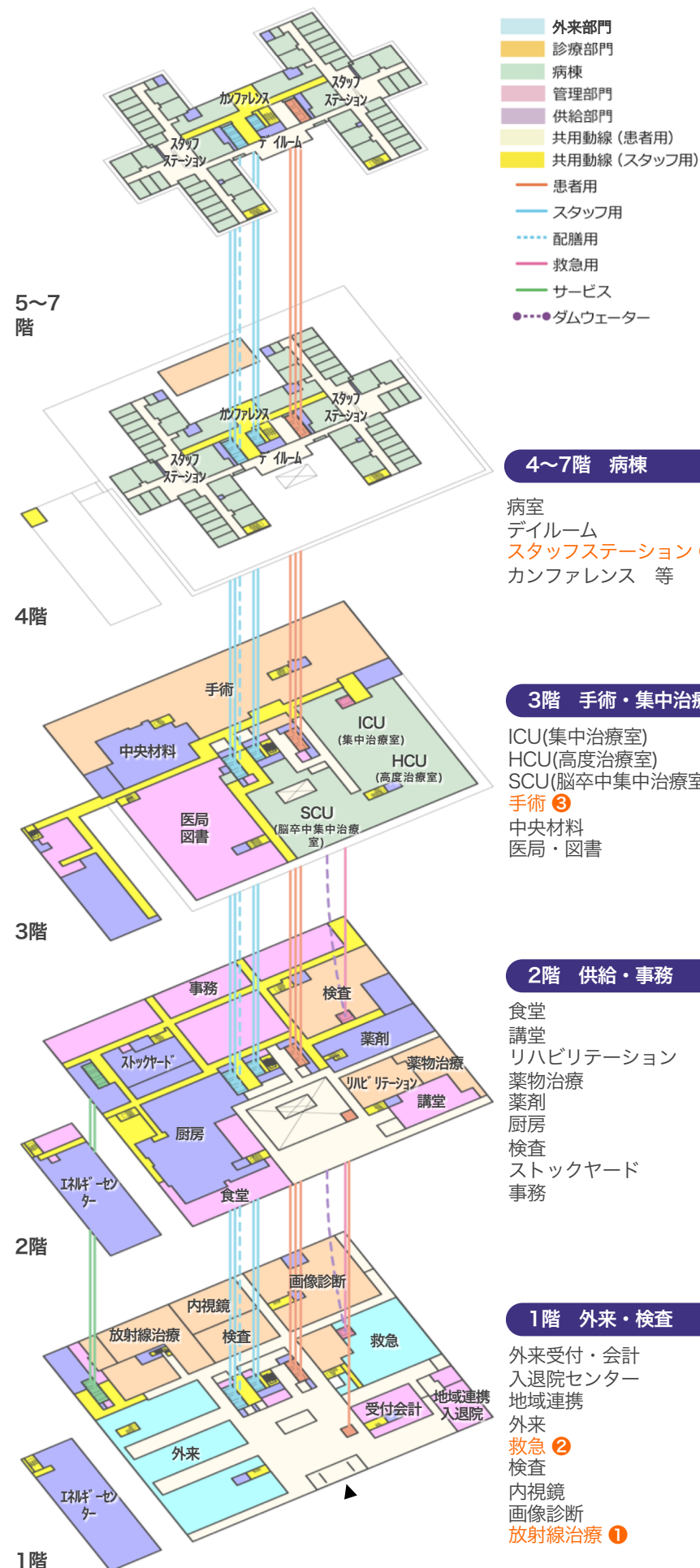
外来部門を1階に集約。患者さまにとって分かりやすく、利便性の高い病院とします。



マスタースケジュール



建物内の階構成と動線



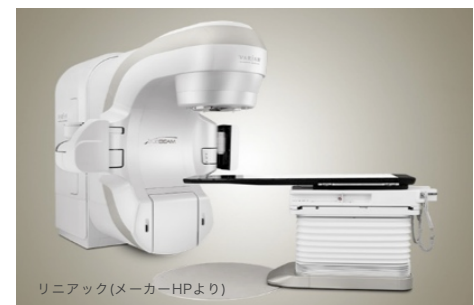
④ スタッフステーションを中心に3方向に延びる病棟形状を採用し、端部病室までの視認性の確保と動線の短縮化を両立。



③ ロボット支援手術システム、ダビンチを導入し、低侵襲の最先端治療を提供。



② 救急外来から手術室・集中治療室フロアへの直通EVを設置。24時間365日の二次救急に対応。



① 悪性腫瘍治療に有効な放射線機器、リニアック、PET-CTを導入。